

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ドーナラボひやごん				公表日	2025年 6月 2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・状況に応じて対応できる個室、十分な広さの訓練室を確保できるよう玩具等の整理を行っている。 ・児童が活動するスペースは十分である
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・非常勤の配置がスムーズに調整できるよう管理者同士で俊敏なやり取りが行われている。 ・定員数に応じた職員数となっている	こどもの状態等に合わせた配置数となるように今後も対応していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・段差は少なく、テーブル角はスポンジ等で覆われている。 ・利用児童の特性にあった構造の環境である	基本、室内はフラットではあり、つうしょ児童の特性では特に課題や改善すべき点は現状ない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・換気、空気清浄機を常時稼働。毎日清掃できている。 ・活動に合わせて、利用児童が安心して利用できるような環境である	毎日清潔に保てるように環境を整えて、こどもたちが安心して活動に取り組めるようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・必要に応じて相談室の使用を許可しています。 ・必要な児童が個別の部屋でも十分活動ができるように環境も整備されている ・状況に応じて個室を開放できている。 ・児童の特性に応じて相談室の開放などを行い対応している	騒がしいのが苦手な子や静かな環境で過ごしたい子、それぞれの特性に合わせて、個室の開放など環境を整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1		業務改善については目標設定と振り返りが行えるように改善していく。 役員の方で行われているが、従業員はそこまで参画できていないため改善が必要。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・毎年評価を元に振り返りを行っている。 ・保護者からの評価をもとに改善すべき事項について改善を行うように努めている	保護者からの評価を受け、保護者の意向を把握し、改善できることは改善できるよう心がけている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・職員の意見をもとに業務改善できるように努めている	役員の方で行われていると考えているが不明瞭ではあるので明確化できるような改善が必要。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	・外部とのつながりが薄いので改善努力が必要。 ・第三者からの外部評価は行えていないため改善が必要である	外部による第三者の評価での業務改善は行えていないため改善が必要である。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・事業所内研修、外部研修ともに参加できる機会がある。 ・外部研修の受講については、適宜研修の情報共有し、気軽に受けられるようしている。 内部研修については全事業所参加型として開催している	職員のスキルアップを目的に必要なに応じて研修受講の機会や職員が受けたい研修については内容を確認し、許可を出せる対応を行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・HPに掲載し、事業所にも掲示されている。プログラムを参考に療育もできている。 ・支援プログラムは、HPへの公表、また事業所内での掲示を行なっている	支援プログラムは事業所内での掲示、HPでの公表を行なっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・職員1人ひとりが児童の計画書を理解し、課題を見つけ、支援に繋げることができている。 ・こどものニーズについては支援での気づきをもとに分析や保護者の要望も含めた計画書作成を行なっている	それぞれの児童へのアセスメントを行い、子どもや保護者のニーズを把握し、計画作成に盛り込めるように対応していく。	

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童との関わりの中で感じた課題や疑問があれば、児童記録へ記したり直接口頭で共有し確認を行っています。 ・なるべく、職員の意見も含め検討し計画できるように努めている 	全職員ではないため、参加し十分に共有できるよう努力が必要。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも確認できるよう常に開放され、必要に応じて支援方法の検討も行われている。 ・計画書についてはいつでも確認できるようにしているが、改めて共有できるように対応していく 	全職員が計画に沿った支援を行えるようにいつでも計画内容を確認できるように開示できるようにしている。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員1人ひとりが児童の計画書を理解し、課題を見つけ、支援に繋げることができている。 ・こどものニーズについては支援での気づきをもとに分析や保護者の要望も含めた計画書作成を行なっている 	標準化されたツールは用いてはいるが、アセスメントや日々の支援での気づきをもとに分析し、確認を行なっている。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な支援内容になるような計画作成に努めている 	子どもの状況に応じた支援計画となるよう適切に設定できるように対応している。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの目標を設定し適宜ミーティングを行っている。 ・当事業所のみでなく、法人内の事業所職員同士でチームを作成し、立案を行なっている 	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものニーズや発達段階に合わせた内容の改善を行えている。 ・活動プログラムが固定化されないように、かつ児童が自身で選び取り組めるプログラムとなっている 	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性によるので、発達の状況に応じて個別活動・集団活動を組み合わせているように努めている 	行えているが集団活動の内容が手薄になることがあるので改善努力が必要。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・3事業所での朝礼、事業所内での情報共有も毎日行っている。 ・毎朝情報共有を行っている 	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎後に必要であれば情報共有することができている。 ・送迎等によりあまり時間を取れない場合もあるが、気になる点があれば共有している 	支援終了後はなるべく当日の気になる点、報告などを行えるようにしている。時間によっては翌日の報告になることもある。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・記録をとることに徹底できていない。余裕を生む改善が必要。 ・記録を取ることは行っているが、遅れが目立つ。記録の遅れが生じないような対策が必要である 	支援の検証や改善は日々の記録をもとに行うことを前提としているため、記録の漏れ、遅れがないように努めている。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜モニタリングや関係者会議が開催され共有もできている。 ・定期的なモニタリングを行い、見直しを行なっている 	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		概ねできているが、「地域交流の機会の提供」が手薄ではあるので改善が必要。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自己選択しやすいような内容の提示をするよう工夫している ・人に決定を任せないよう声かけは必須で行っている。 ・児童自信が選択できるな支援を行っている 	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が情報をまとめ参加。状況によって児童と信頼関係の深い職員も参加している。 ・直接支援を行っている職員も参画できるような対応を行なっている 	子ども状況をよく理解した職員（直接支援職員）も参画できるような対応を行っている。

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 適宜学校との関係者会議を行っている。 協力医療機関の精神科医との定期的なカンファレンス等は行っている。 	協力医療機関の精神科医との連携は行っている。学校との連携についても特に必要な児童については、定期的に会議を持ち連携を取れる体制を整えている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 学校によってスクリーン登録で行事等の把握が可能。 保護者へはLINEから送迎時間の調整等、必要な連絡を行っています。 主に保護者と連絡をとっており、学校との情報共有は手薄である。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> 必要であれば就学前に利用していた施設等との関係者会議を設定している。 	就学前利用していた事業所との情報共有は行っていないので、行えるように努めていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3		卒業する児童への情報共有は行っていない。卒業時点での移行状況が不確定なことも多いため対応できていないのが現実。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4	<ul style="list-style-type: none"> 研修の案内等があれば適宜参加できている。 	設けられていないので、設けられるように努めていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	<ul style="list-style-type: none"> 戸外活動で公園へ行く際は地域の子どもたちと活動を共にする事もある。今年度も地域の児童館との交流、計画を行っていききたい。 	地域との交流は手薄であるため改善努力が必要。また、人間関係に対して苦手さを持っている児童も多いため、状況に応じて交流ができる支援を行っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4		参加できていないため改善努力が必要。適宜協議会開催の情報を把握する必要がある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時や事業所訪問時など、保護者とお会いできる時にお子様の成長や課題を共有し共通理解できるよう努めている 保護者とのやりとりは毎日行っており情報共有できている。 気になる部分があれば状況を伝え合い、課題や保護者や家庭の状況等を把握するようにしている 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	<ul style="list-style-type: none"> 家族向けの研修があれば情報提供できている。 	ペアレントや家族が参加できる研修は行っていないので、保護者向けの研修等も行えるように努めていく
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 契約時、もしくは質疑があればその場で対応できている。 契約時に説明を行なっている。また、後日でも不明な点や気になる点があれば説明ができる対策を行っている 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 支援方法や内容等、保護者や子どものニーズを確認し行っている。 定期的に保護者へ情報共有や話を聞いて児童や家族の意向を反映できるように努めている 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者から同意を得ている 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 相談があれば十分な時間を確保し寄り添うことができている。 定期的に話を聞いたり、相談があれば時間をとって面談を設けている 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も実施できるように計画を行っていききたい。 保護者同士で交流する機会が少ないため、互いにつながりを持つために保護者会を開催しても良いと思う。 	保護者会等、開催できていないため改善努力が必要。保護者会を開催することができなかった。また、兄弟同士の交流する機会も設けることはできなかった。兄弟同士の交流については保護者の意見、意向も確認し対応していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内にポストを設置、LINEからでも気軽にご連絡、ご相談頂けるようにし迅速に対応するように心がけております。 対応の流れ等に関しては確認できていると思う 	保護者からの苦情はなかったが、必要に応じて迅速かつ適切に対応するように心がける

の 説 明 等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月ラポ便りを配信し活動の様子や行事予定をお知らせしています ・普段の活動の様子が見えるようにお便りや連絡などで発信することができていると思う ・保護者へ都度SNSを通して情報を発信できている。 ・毎月保護者へ通信を行っている 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いについてお知らせを行い、必要に応じて対応を行っています。 ・個人情報の取り扱いには十分気をつけているため改善点は特に思い浮かびません。 ・施錠付き本棚に配置。児童の立ち入りを禁じている場所で保管している。 ・個人情報については、取り扱いに十分注意をするように対応している 	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの連絡時は時間帯を気にする事なくLINEを活用して頂けるようにしている ・保護者との情報伝達では口頭だけでなく文面でも確認を取るようになっている。 ・配慮するように努めている 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、機会があれば計画していきたい。 ・夏休み等を利用して地域住民を招待したりする行事を開催できるように改善していきたい。 ・地域との交流は参画できていないが、閉鎖もしていない。できるだけ参画できるよう改善努力が必要。 	地域住民を招待することは行っていない。地域に開かれた事業運営ができるように心がける
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内に貼り出しを行っているが訓練は行っていない、必要な計画を行い実地していきます。 ・マニュアル等を職員で確認することはあるが、訓練に関してはまだ行ったことがないためこれから改善していきたい ・必要に応じて訓練を実施できている。 ・訓練を実施した際には周知を行っている 	
非 常 時 等 の 対 応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害に備え児童と話し合い避難場所の確認等を行っています ・災害の発生に備えて避難訓練を行うことはできている。 ・従業員で情報を修正しながら作成できている。 ・定期的に行えるように努めている 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から情報提供があれば事業所内で共有。活動中に変化がないか職員間で状況確認を行っています。 ・服薬やてんかん発作時の対応についても情報共有できている。 ・利用日前日に発作があったかどうか、服薬したかの確認もできている。 ・事前に確認を行い、必要に応じて対応できるよう職員間にて周知共有を行っている 	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの情報共有のもと、おやつ提供時は成分表の確認を行っています。 ・アレルギー発作が起こらないよう提供する物にも十分留意している ・保護者や本人とも確認をし提供している。 ・昼食などの食事提供等はないが、食物アレルギーについて医師の指示書に基づく対応は行っていない。しかし、おやつなどに関してアレルギーがある子どもに対しては提供されないように職員間にて共有を行っている 	

50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修に参加しています。 ・安全管理に関しては定期的に職員間でも確認を行うことができる ・安全計画をもとに必要な研修、訓練を行うように努めている 	
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・安全確保に関して保護者とは連絡を取り合いながら連携することができる ・必要に応じて周知するよう心がけている 	ご家族への周知ができるように努めていきたい。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で共有し話し合いを持つようになっています。 ・内容共有を行い再発防止に向けて話し合いを持つことができる ・共有し、随時ミーティングを行うことができる ・些細なことでもヒヤリハットは作成し、職員間にて共有を行っている 	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修があり参加しています。 ・職場内研修機会を定期的に設け、外部研修への参加機会も確保されている。 ・定められた内容について全職員が参加できるよう工夫されている。 ・虐待防止の研修は法人全事業所合同にて行っている 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修があり参加しています。 ・研修や事業所内で身体拘束に関して話し合いを持ちやむを得ず身体拘束を行う際の事案に関して確認を行うことができる 	身体拘束の対象児童はいないが、必要があれば事前説明、承諾を得た上で計画を作成し、対応していく。